

地域づくり型生涯学習講座コーディネート事業

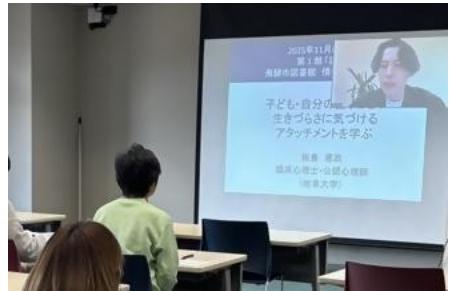
飛騨市にて「家庭教育支援」の 講話とワークショップを実施

講話「子ども・自分の困りごとや生きづらさに気づける アタッチメントを学ぶ」

講 師 岐阜大学教育学部准教授
板倉 憲政 氏

内 容

- ・アタッチメントの概念とアタッチメント障害の定義
- ・問題行動の背景と理解
- ・様々な小学生の事例に対する働きかけ



ワークショップ「気づいた困りごとを安心や豊かさに変えるために一緒に考えよう」

講 師 大八まちづくり協議会事務局長
山本 真紀 氏

内 容

- ・ラベルワークを活用し、講話からの気づきや今後取り入れたいこと等の共有
- ・交流を踏まえ板倉先生への質疑応答



日 時 令和7年11月8日（土） 14：00～16：00

場 所 飛騨市図書館

対 象 保護者、地域住民 12名

● 参加者の感想

- ・家庭や学校、保育園等において、アタッチメント（くっつく・逃げ込む）をしたり、自分の本音や弱音を吐き出せたりする環境を意図的に整えることが大切だと思った。
- ・アタッチメントについて、理解を深めることができた。子どもの不安を受け止め、安心させてあげられるような存在になりたいと思った。

● 主催者の感想（コーディネート事業を利用して）

- ・今回は、子どもや保護者の困りごとに気付き、生きづらさを減らすための考えを学んだ。今後も家庭教育支援チームとともに、不登校や問題行動等の困りごとに悩む子どもと家族の支援について学ぶ機会を設ける。